



校旗返納

「ありがとう」
「楽しかったです」
児童一人ひとりが校旗を
手にとり、感謝の気持ちを
一言ずつかけていきました。
最後は平川校長が横山市長
に手渡し、校旗が返納され
ました。

三豊市立箱浦小学校閉校式



学んだことに自信を
過ごした時間に誇りをもって――

123年の歴史に幕

箱浦小学校が3月31日、123年の歴史に幕を下ろしました。3月21日に行われた閉校式では児童や地域の人など約100人が集まり、校旗を返納したほか、全国3位に輝いた児童のミュージックベルの発表や学校のあゆみ、地域の人が語る箱浦小の昔など、長い歴史を振り返り、懐かしみました。箱浦小学校は、学校再配置計画により、詫間小学校と統合することになりました。校舎が変わってもここで培われた生きる力は、確かにみんなの中に存在しています。

「最後の運動会は雨のため体育館で、みんなでソーラン節を踊ってみんなが笑顔になったこと」
「ありがとう教室、ありがとう体育館、ありがとう箱浦小学校、君に会えてよかった」
児童が、一番思い出深い出来事を発表しました。自分の学校生活を思い出し、自身を重ね合わせる地域の人たち。会場からは、すすり泣く声が聞こえていました。



思い出の発表



校歌斉唱

最後の校歌を、児童や地域の皆さんが、それぞれの思いを胸に、高らかに歌いました。
箱浦の丘の上
空に輝く 青い空
島も見えます
広い海
心ひろびろ
明るくね
ぼくも私も
手をつなごう

4月からはスクールバスで百々莉加さんは「新しい小学校で楽しみなことは、お友達がたくさん作って勉強や遊びをいっぱいすること、修学旅行」三宅芽依奈さんは「お友達をたくさん作って勉強や遊びをいっぱいすること」とにっこり。
2校が統合した詫間小学校。新たな出会いや学び舎で、新しい歴史が始まります。

